

野田ロータリークラブ週報



Peace
through Service

奉仕を通じて平和を

2012-2013年度 国際ロータリーのテーマ

第2695回例会(4月1日) 第2688号 2013.4.8発行 ■創立:昭和31年5月 ■例会日:毎週月曜日 PM12:30~13:30

会長:古谷 尊生 / 会長エレクト:伊藤 義雄 / 副会長:染谷 栄 / 幹事:三浦 直哉 / 副幹事:栗林 徹

例会場 事務局

〒278-0035 野田市中野台168-1 野田商工会館内5F(櫻のホール) TEL(04)7125-0061 FAX(04)7125-0055 ■発行責任者:古谷 光裕

会長挨拶



古谷 尊生 会長

皆さんこんにちは、いよいよ4月に入り、残任期間もあと3ヶ月となりました。あっという間の9ヶ月だったような気が致しますが、三浦幹事共々、気を引き締めて残りの期間を務めて参りたいと思いますので、会員の皆様のご協力をお願い致します。

さて、桜もこのところの冷え込みで、満開のピークが長くなっているみたいで、関係者の皆様はほっとしているのではないかと思います。それにしても冷たい雨が降ったりして、花の色も褪せてしまうか

など心配してしまいます。

一方、江戸川の土手に毎朝の日課の、犬の散歩に上がっていくと、これまた満開の芥子菜の黄色い絨毯で埋め尽くされており、その花の香りが何とも言えないむせ返るようなにおいで、包み込んでくれます。まだあと数日はこの香りが続くでしょうから、ぜひ江戸川の土手までお越し頂ければと思います。

来週の例会は、7日の日曜日から4日間の予定で、第2回目の西国三十三観音霊場巡拝に行つて参りますので、8日の例会は欠席させて頂き、代わりに染谷副会長に代理をお願いしますので、よろしくお願ひします。

最後に、昨日の朝は冷たい雨が降っていたので、これで桜の花も終わりかなとおもって、思わず、

「花散らす 冷たき雨ぞ 恨めしき」

と詠んでしまいました。

以上で会長挨拶とさせていただきます。



第2695回例会

点 鐘 古谷 尊生 会長
司 会 中野祐三郎 会員
ソ ン グ 君が代
奉仕の理想

ニコニコボックス

村上 奈美 会員
4月29日、病院の健康祭りをご案内させて頂きました。宜しくお願いします。
古谷 光裕 会員
結婚祝いありがとうございます。
早退 2名

御結婚祝い



古谷 光裕 会員(4月7日)

幹事報告

三浦 直哉 幹事



例会変更・休会のお知らせ

- 柏西ロータリークラブ
4月19日(金)…休会
4月16日(火)第10分区親睦ゴルフ及び合同例会に振替
- 我孫子ロータリークラブ
4月16日(火)…第10分区親睦ゴルフ及び合同例会に変更致します。
- 野田市郷土博物館・市民会館より
「野田に生きた人々 その生活と文化2013」と題した企画展が、4/6～7/8まで開催されます。案内がきています。
- 拉致被害者の国民大集会が開催されることのご案内がきています。
- (社)野田青年会議所より
NODA-1グランプリのポスターがきています。
事務所などにはっていただける方はお持ちになって下さい。
最後に訃報です。
- 茂木克己元会員の夫人であります茂木國子様
が3/28御逝去されました。
通夜は本日6時より、金乗院で行われます。
葬儀は、明日10時30分からです。謹んでご案内致します。
- 本日は理事会がございます。

出席 今回分(4月1日分)
会員 48名中 37名出席 (77.08%)

(3月18日分)
前々回訂正 (83.67%)
(前々回欠席8名中メーキャップ0名)

委員会報告

親睦活動委員会
岡安 誠人 委員長

中野祐三郎 副SAA



ゴルフよろしくお願ひします。



席次について

卓話

杉崎光三郎 会員

「日本語の大疑問」

本日、卓話担当の杉崎光三郎です。お時間までごゆっくりお休み下さい。さて、タイトルとして「日本語の大疑問」と言う皆様よく御存知の池上彰氏の著書から、独断、偏見を持ちまして、ざっくりと抜粋しました。著者池上氏のプロフィールを極、簡単に申し上げますと、もとNHK放送局の名アナウンサーとして活躍され、現在は、フリーのジャーナリストとして多岐の分野でご活躍中です。この本の内容の中には「話し言葉」や「表記文字」について卓話の中で誤りが、間々あると思いますが、至りません所は「浅学菲才」のスピーカーに憐憫のお情けを頂ければ幸甚に存じます。シチュエーションやエピソードはランダムですので予めご了承下さい。



エピソード・1 「埼玉の吉見百穴」を何と読む

埼玉県吉身町に、国の指定史跡の「吉見百穴」があります。古墳時代後期に作られた大規模な横穴墓群で、実際には200以上の横穴があります。この吉見百穴についてのニュース原稿が、埼玉県内の取材を担当しているNHK浦和放送局から送られてきました。私が本番前に原稿の下読みをしていますと、吉見百穴に「よしみ。ひやくあな」というルビがふってあります。私は「吉見。ひゃけつ」だとばかり思っていましたから、早速浦和放送局へ確認の電話をしました。すると、正式には「ひやく。あな」だということです。「初めて知ったな」などと思いながらスタジオに入り、「ひやくあな」とよみました。その直後から抗議電話が殺到しました。「ひゃっけつ」という読み方も知らないのか、というお叱りです。わたくしとおなじで、みなさん「ひゃっけつ」だとおもっていたのですね。放送後に百科事典をひいてみますと、「ひゃっけつ」というルビをふったものもあったほどですから。吉見百穴は大正十二年の三月に国の史跡に指定されました。正式には「よしみ。ひやくあ



な」なのですが地元の教育委員会も「誤った読み方が広がりまして」と当惑の様です。

エピソード・2 みんなが知っている二荒山神社

栃木県日光市の二荒山神社と言えば、皆さんご承知の「ふたらさん。じんじゃ」と読みますね。ところが、同じ二荒山神社と言う名前でも、「二荒山。神社」と読む神社があるのです。ローカルニュースでは、この宇都宮の神社の話題がよく登場しますが誤読すると抗議電話がよく掛かるそうです。

エピソード・3 季語について

五月のある日。よく晴れた一日について、「今日はさわやかな一日でしたね」と発言したところ「さわやかという言葉は、秋の季語です。五月の天候を形容する言葉としては不適当なのでは？」との指摘便を頂き視聴者の鋭敏な感覚に驚きました。それ以降 春、初夏、には「すがすがしい」と言う表現にしました。言葉は時代とともに移り変わるものです。言葉の変化と言えば「白夜」について、今は亡き言語学者の池田弥三郎氏が「本来は{はくや}という読みなのに、「知床旅情」という歌の中で「びやくや」というよみかたをしてしまったため間違った言い方が一般化し、定着しつつあるようです。

エピソード・4 新聞記事に「鳥肌が立った。」について。

平成十一年八月、甲子園の夏の高校野球で群馬県勢として初めて優勝した桐生第一高校を応援する地元の様子を伝える新聞記事の見出しに、「鳥肌立つ」という活字が躍っていました。とうとう新聞までがこの表現を使い出したのか、とがっかりして、それこそ鳥肌が立つ思いで記事を読みましたが、担当者はその意味が解かって居るのでしょうか？言うまでもないことですが、「鳥肌が立つ」とは、ぞっとしたり、寒いときに、皮膚の筋肉が収縮して、まるで鳥の肌のようにブツブツができることを言いまして、古くからは好かない状態に使われるニュアンスであります。何時の間にか「感動する」という意味にも使われるようにもなりました。たとえばの例ですが芝居観劇の後、出演者に向かって「思わず鳥肌が立ちました」などと言うと、言った本人は「感動した」と言うつもりでも、言われた方は「ぞっとするほど寒い演技だった」と言う意味に誤解するかもしれません。では、感動して鳥肌が立つことはないのか。感動したときに鳥肌が立つことは生理学的には事実とすると、やがて、この使用法が社会に定着していくのでしょうか

エピソード・5 間違った用法でも定着する。

このようには、もともとは誤った言い方でも、社会に広く受け入れられる事で、正しい言い方として認知されることがあります。最近の例では、「早急」や「重複」があります。

「早急」は「さっきゅう」と言う読み方しかなかったはずなのですが、多くの方が「早{さく}」の「{そう}」と言う読み方に引きずられて「そうきゅう」と読むようになりました。「ちょうふく」も「じゅふく」と同意語として一般的に使われているようです。「ちょう」と言う読み方は「かなえ」の「軽重を問う」や「重宝する」など、用例も、現在一般的に使用頻度は少ないようです。本来は間違った用法でも、社会の多数派が多用すれば正しい用法として認められる様です。

エピソード・6 乱れた日本語にムカつく

初めは間違った使い方でも、みんなが使うようになれば、やがて正しい使い方になると書きましたが、「間違っている」と断定できないまでも、「なんだか変な使い方なあ」と思う言葉の用法は、世の中にあふれています。私が「ムカつく」という言葉の新しい使い方に初めて接したのは小学校四年生の女の子が使っているのを聞いた時でした。

単にがっかりしたり、ちょっと腹が立ったりしたことに対して、「ムカつく」と表現しているのです。あまりに不快に感じましたので聞いた私が「ムカツキ」ました。「この言葉は、とても気持ちが悪くなり吐き気を感じたときなどに使う言葉だから、普段簡単に軽い気持ちで使わないように」とお説教してしまいました。しかし、もちろんこの女の子に悪気はありません。周りの友達と同じように軽い気持ちで使っていた、だけの事でしょうし、また、この言葉がもつ本来の意味を理解していなかったのでしょうか。然しあるアンケート調査では「日本語が乱れている」と感じている人は、年を追って増えています。

エピソード・7 気になる言葉

スーパー、マーケットやコンビニエンス、ストアで買い物をして千円札を出すと、例えば五百円の買い物をするとレジの店員が「千円からお預かりします」といいます。考えてみると、これは変な言い方です。本当はこう言えば良いのでしょうか。「千円のお預かりから五百円お買い上げいただきましたので五百円のお返しです。」と、千円からお預かりします」の様な言葉使いは「言葉の節約」形で、実は、「ぼかし表現」と言われていて、会話に柔らかさを付加して、良好な雰囲気を醸し出す狙いもあるやに感じられます。

喫茶店に入ると、「おタバコのほう、おすいになりますか？」と聞かれます。禁煙席か喫煙席かを尋ねているのです。「おタバコはお吸いになりますか？」でいいはずなのですが。「私はこう思います」と言えばいいのに、「ワタシ的には、こう思うんだけど」という言い方。「欧米ですと、「自分の主張をはっきりさせなさい」と指摘されるのですが、日本では奥ゆかしさが尊重されるため、こんな言い方まで生まれたのではないのでしょうか。コーヒーしか飲んでいないのに、「コーヒーとか飲んで、、、」という表現。特にこの「とか」の乱用には、「とか弁」と言う”愛性までついています。

「ら抜き言葉」に就いて 例 「食べられる」～「食べれる」
「見られる」～「見れる」

エピソード・8 「さ入れ言葉」

政治家の記者会見をテレビで見ていると、「言わせて頂きます」をよく耳にしますが「言わせていただきます」でいいのではとおもいますが。

例文 「お呼びします」～「お呼びさせていただきます」
「読ませていただきます」～「読まさせていただきます」
「聞かせて頂きます」～「聞かさせていただきます」
「さ」を入れると、かえって、くどく感じます。



エピソード・9 「氾濫するカタカナ語」に就いて

昭和六十三年、当時の小泉純一郎厚生大臣は、福祉をめぐる言葉にカタカナ語が多すぎることに驚き、「これでは肝心のお年寄りに、何のことか解からないではないか」とわかりやすい用語作りを指示しました。問題になった言葉は、ターミナルケア、ディサービス、ショートステイ、ノーマライゼーション、ホームヘルパーナド等です。確かに、こうした言葉を聞いて、何のことか、すぐにわかるお年寄りはい少ないのではないのでしょうか。

いや、お年寄りに限りませんね。関係者以外はほとんど理解できない用語も含まれています。金融危機が問題になったときには、国会であらたな「スキーム」作りと言う言葉が飛び交いました。日本語で「仕組み」と言えば済むことなのに。

エピソード・10 「カタカナ語の発音違い」に就いて

何でもカタカナで表記してしまいますと、英語と日本語の発音の違いから、誤解も生まれます。

- 例 スイート (コーン) =sweet(甘い) ファースト (クラス) =first(一番)
- スイート (ルーム) =suite(一続き) ファースト (フード) =fast(早い)
- フリー =free(自由) フリー (マーケット) =flea(蚤)「蚤の市」「早急」

野田RC理事会議事録		会長	古谷 尊生		
開催日時	平成25年4月1日(月)				
開催場所	櫻のホール 5F				
号	議 題	承認	否決		
1.	退会・入会承認の件 退会会員 杉崎 博己 会員 新入会員 茂木佐平治 氏 野田ガス(株)代表取締役社長 推薦者 山本 章裕 会員	○ ○			
2.	その他 5月12日 流山RC50周年記念 バス用意 集合PM12:00 御祝い金	○			

野田ロータリークラブ 例会・卓話予定表

月 日	卓 話 ・ 行 事	月 日	卓 話 ・ 行 事
4月 8日(月)	卓話 染谷 肇 会員	4月22日(月)	卓話 滝 和洋 会員
4月14日(日)~15日(月)	益子・鬼怒川温泉親睦旅行	4月29日(月)	休日(昭和の日)